

教員名	教員所属	科目名	アンケートに対するコメント
浅岡 章一	人間心理学科	社会心理学調査演習	非常に作業も多く、学術的レベルも高く設定した専門科目にも関わらず、理解度も含めて高く評価してもらえたようで安心しました。授業の性格上、授業外の時間での作業が多くなると予測しましたが、全学平均と大きく変わっていないようです。各回での課題を明確にするなど、予習、復習に仕組みややすくなるよう工夫をしていきたいと思っています。
浅岡 章一	人間心理学科	睡眠の心理学Ⅱ	3年生以上対象の選択科目であるにも関わらず、シラバスを読んでいる学生が少ない点は大変気になります。初回の授業で丁寧な説明を心がけたいと思います。予習・復習の時間が短かったようですので、課題を明確に出したり、参考書を多く紹介するなどしていきたいと思っています。
浅岡 章一	人間心理学科	生理心理学	一年生向けの科目として設定されていることもあり、シラバスを読まずに受講する学生も多くいるようでした。初回ガイダンスの際に説明はしていますが、この授業の狙いや目標等が受講生に理解しやすくなるよう、説明を丁寧に行いたいと思います。また、脳科学的な話が多くなるためか、理解し辛い箇所もあったようです。受講生が授業内容に興味をもてるよう工夫をしていきたいと思っています。
浅岡 章一	人間心理学科	専門ゼミナールⅠ	全体的によく評価いただけたようで安心しました。予習復習の時間に関する項目の評価も全学平均よりは高い値となりましたが、ゼミであることを考えると、週に1時間未満しか課題に時間をかけていない受講生が複数存在することは問題があると思われれます。課題を明確にするなど、受講生が積極的にゼミの課題に取り組めるよう指導を行っていききたいと思います。
浅岡 章一	人間心理学科	専門ゼミナールⅡ	評価の平均が4.8と、全体的に大変よく評価してもらいました。4年生のゼミという事もあり、問6の学習時間に関しては全科目平均と比較して極めて高くなっていました。この点はゼミとして適切な指導ができたと思っています。非常に多くの作業量を学生に対して求め、学術的レベルとしても高いものを目指した内容の授業であったが、授業の理解度等の評価も低くなく、大変安心しました。
伊藤雅之	基礎・教養教育センター	外国史学概論	本講義に関するアンケートの結果は、多くの質問について全学平均と概ね同じ評価となっていました。これはこれで大変結構なことではありますが、教員サイドとしてはなお少なからず考えるべき点があるとも感じております。特に申し上げたいのは、皆様の「予習・復習や授業に関する取り組み」の分量に少なさについてです。これは本講義に限らず全学的な傾向といえます。また学生の皆様の多くが、勉学以外にも部活動やアルバイト、あるいはその他の経験を積むのにも時間を割きたいとお考えになっていることも承知しております。ただ、幅広い勉学のためにまとまった時間を取ることは、学生である時期を過ぎると格段に難しくなります。教員サイドとしては、皆様が今少し勉学に割く時間を増やしていただければと思います。本講義に限ったことではありませんが、本学の図書館には、授業で取り扱う内容と関連性の強い、あるいはより詳しい解説を提供している書籍が少なからずあります。読書に不慣れという方は文庫や新書の類からでも構いませんので、ぜひこれらを活用し授業の予習・復習、あるいはより広く自身の知見を増やすの役立ててくださればと思います。また教員サイドとしても、皆様が授業の後などにおいてより多くの時間を学習に割きたいと感じるような講義になるよう、より知恵を絞っていかねばと感じております。
川村幸夫	基礎・教養教育センター	アメリカの文化	全体的な評価が4.2で、ほぼ予想どおりでした。「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習にどの程度の時間をかけましたか」のポイントが低かったのが気になります。他の科目でもこのポイントが低いようですが、事前学習や復習に時間をかけるような工夫をしていきたいと考えています。自由記述は好意的な意見に混じって批判的意見もありました。全員が満足する授業が理想ですが、なかなかうまくいかないのが現実です。批判的な意見を今後の授業運営に活かしていきたいと思ひます。また、声が聞こえづらいという指摘がありました。教室全体に声が届くように心がけたつもりですが、今後は適宜マイクを使うなどの工夫をするつもりです。
川村幸夫	基礎・教養教育センター	英語Ⅱ(多読)	全体的な評価が4.0で、予想とほとんど変わりませんでした。「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習にどの程度の時間をかけましたか」のポイントが低かったのが気になります。他の科目でもこのポイントが低いようですが、事前学習や復習に時間をかけるような工夫をしていきたいと考えています。自由記述は好意的な意見でした。また、受講生のがんばりが感じられる内容で、満足しています。
田辺江美子	基礎・教養教育センター	法学概論	この科目は、全学共通でまた受講する学生は1年生から5年生まで多岐に亘っていました。前期の日本国憲法よりも広く浅く、私たちのライフステージで直面するさまざまな法的問題を学習しました。内容は決して平易ではないのですが受講するみなさんが一生懸命取り組んでくださったことが印象に残ります。アンケートの結果は、おおむね全学平均に近いものであり、わずかに「6事前準備や学習」「17スムーズな授業の運営」「18教員の熱意」が上回っていました。「6事前準備や学習」は、昨年の同一の科目でも低く、今年度は学生報告を強化しましたが、なお学生のみなさんには余力があるという結果かと思われる。来年度は、さらにみなさんが参加する授業に取り組むたいと考えています。自由記述では、「わかりやすかった」という回答が複数寄せられ、わかりやすい法学を目指した意図が通じたと少し安心しました。来年度は、さらに発展して学生の記述力と発表力の養成について一助となる講義にしたいと考えています。
萩原さがみ	基礎・教養教育センター	英語Ⅲ	アンケートありがとうございます。改善点を踏まえ今後の授業に生かしたいと思っています。
山本隆一郎	人間心理学科	カウンセリング演習	本科目は、選択科目かつ少人数かつ演習形式の授業であり、そもそも評価が上がりやすい性質の科目である。このようなセレクト的な受講生であったことから出席率・熱意ともに満点であった(シラバスの確認や受講態度も著しくよい)。今後も、少数の受講生に「演習科目」として、アクティブラーニングを意識したその場でしか生じない体験を重視した授業運営を心掛けたいと考えている。
山本隆一郎	人間心理学科	人間心理学基礎	同年度の前期科目「基礎ゼミナール」の評価と比較して、大きく評価が向上した。「基礎ゼミナール」のアンケートのコメントでも記したことであるが、少人数制の授業は学生間の力動が評価等にも反映されやすい。今回の評価が上がった点として、受講生同士の関係性が入学時で不安定だったところから比較すると安定してきたこと、教員との単純接触回数が増えたことや好意の返報性によるものが大きいと考えられる。重要なことは、人間心理学基礎を通じて、今後の人間心理学科での学びのどのような基礎が築かれたかという点であり、受講生にはそこを振り返ってほしいと思う。
山本隆一郎	人間心理学科	専門ゼミナールⅠ	本授業は専門ゼミナールであり、受講生も担当教員の専門性やゼミ運営の方針についてよく知ったうえで受講していることになる。そのため概して、授業評価は高いものであった。しかしながら、「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」の質問に対しては、点数が低かった。そもそも、ゼミ生が発表し、討論をするという内容のものであるため、これは、教員に対する指摘であるのか(こうした表示自体がないが)、他のゼミ生のプレゼンテーションを指しているのかが不明瞭である。いずれにしても、今後社会に出る上での基礎力としてのプレゼンテーション能力強化も意識したゼミ運営をしていきたいと考えている。
山本隆一郎	人間心理学科	専門ゼミナールⅡ	本授業は、4年生の必修である専門ゼミナールⅡであり、卒業研究とも連動している科目である。担当教員が江戸川大学で初めて担当したゼミであり、試行錯誤で研究指導を行ってきたところがあるが、概して高く評価を拝受し安堵している。今後も、最終学年の学生にどのような力を養っていかねばならないかに真摯に向き合っていきたいと考えている。
山本隆一郎	人間心理学科	臨床心理学	必修科目であったためか、シラバスの確認などは点数が低かった。一方で授業運営としてはこれまで同様の評価を拝受した。自由記述は回答自体が少なかったが、エドクラテスに配布資料のアップを早めにしてほしいとの意見を頂戴した。平成29年度は、公認心理師法のカリキュラムの動きなど、授業内容に直結する変化が多かったためリアルタイムでの情報の発信を心がけていたため、アップロードに余裕がなかった点が挙げられる。平成30年度からは、受講生の予習の利便性を高めるために授業終了直後に、次の回の授業資料をアップロードするように心がけている。
吉田 一康	経営社会学科	企業と法Ⅱ	授業評価のアンケートにお答えいただきましてどうもありがとうございます。設問10「授業を通して多くの知識を得ることができた」及び設問14「専門知識や専門用語の説明はわかりやすかった」が4.1と低かったことから、法律の専門用語について、もっと分かり易い説明を心掛けて、理解を深める工夫が必要だと思いました。設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が2.7だった点については、これまでの評価と同様で、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを与えて、予習や復習を習慣づけなければならないと考えました。学生の受講態度については、朝1限ということもあり、遅刻者と居眠りがややみられましたが、通常、講義中は、驚くほど静かで真面目なものでした。